



セーリングゴールド(セラミックウレタンCWF-20A)物性試験結果

* セーリングゴールド上にCWF-20Aを塗装し塗装板の物性を評価する

①試験方法

試験項目	試験内容
密着試験	2mm間隔の基盤目状に切り傷をつけてマス目を100個作り、その上にセロテープを密着させて剥がす。塗膜剥離の有無
退色試験	フェードメーター試験機を用いて紫外線を48時間照射する。試験前後の色差を測定し、変色の程度を目視評価する
寒熱繰返し試験	60°C/2時間→ -20°C/2時間を1サイクルとして6サイクル行う。クラック白化の有無
耐湿試験	60°CRH95%に設定した恒温器中に48時間放置する。試験板は切断面及び裏面にアルミシール処理を施した物及びしていない物の2種類で行う
薬品試験	酸性溶剤(5%酢酸水溶液)アルカリ性水溶液(1%炭酸ナトリウム水溶液)ラッカーシンナーを塗膜表面に敵下し時計皿で被覆して6時間放置後直ちに拭取る。変色、ふくれ、艶変化の有無
汚染試験	油性マジック、赤クレヨン、青水性インキを滴下して4時間放置した後布に水又は溶剤を含ませて拭取る。痕跡色残りの有無
鉛筆硬度	先端を円柱状に削った鉛筆を手で約45°に保持し塗膜表面を1つ濃度記号につき5回づつ引っ掻きすり傷が2本以上つく1つ下位の濃度記号を鉛筆硬度とする
湿性試験	JIS K5400.9.2.2準拠 恒温恒湿器を使用して50°C RH95%中に150時間放置する。
耐酸性試験	JIS K5400.8.2.2準拠 20°Cの5%硫酸水溶液に試験板を24時間侵漬する。
耐アルカリ性試験	JIS K5400.8.21準拠 20°Cの5%炭酸ナトリウム水溶液に試験板を72時間侵漬する。

②結果

CWF-20A		結果
密着試験		若干の塗膜剥離あり
退色試験	△ E (色差)	0.15
	△ L (明度)	0.02
	△ a (赤緑)	-0.03
	△ b (青黄)	-0.14
	目視確認	変色なし
寒熱繰返し試験		異常なし
耐湿試験	シールあり	僅かな基材の膨れあり。塗膜は異常なし
	シールなし	基材の膨れあり。塗膜は異常なし
薬品試験	5%酢酸水溶液	異常なし
	1%炭酸ナトリウム水溶液	異常なし
	ラッカーシンナー	痕跡あり
汚染試験	黒マジック	色残りなし
	赤クレヨン	色残りなし
	青インキ	色残りなし
鉛筆硬度		F
湿性試験(78時間終了時点)		基材の膨れあり。塗膜は異常なし
耐酸性試験		基材の膨れあり。塗膜は異常なし
耐アルカリ試験		基材の膨れあり。塗膜は異常なし

* 記載内容は当社の測定結果であり規格を示すものではありませんのでよくご試験の上ご使用下さい。